

平成29年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



平成29年12月
海老名市立杉本小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 国語A全体として、結果は良好です。
- 目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけて読んだり、俳句の状況を捉えたりなど、読むことに関する能力が比較的高いです。
- 漢字やことわざなど、言語についての知識が全体的に身についています。

《努力を要する所》

- 手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題があります。
- 「対象」という漢字を書くことに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモの良さを捉えることができます。
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができます。
- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることが、全国に比べてできています。

《努力を要する所》

- 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題があります。
- 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題があります。

これまでの取組から

- 水曜日と金曜日に朝読書を行っています。読書習慣が身につく、時間を見つけては本を開いている児童が多くいます。
- 授業において自分の考えを述べるときは、できるだけ理由や根拠をもとに述べるよう指導しています。

今後の具体的な取組について

- 今年度より、校内研究において総合的な学習の時間と国語科の学習を関連づけながら、それぞれの教科で学んだことが相互に生かせるよう取り組みます。
- すべての学習の基礎となる「読む・書く・話す」については、繰り返し行うことで定着を図ります。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

【数量や図形についての技能】

- 未知数を口で表し、問題場面にあった式に表すことができます。
- 資料を二次元の表に的確に整理することができます。

【数量や図形についての知識理解】

- 立方体の展開図から平行になる面を探したり、円を使って正五角形のかきかたを考えたりすることが的確にできます。
- 乗法の性質を使って、小数の計算方法を的確に考えることができます。

《努力を要する所》

【数量や図形についての技能】

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

【数学的な考え方】

- 示された条件をもとに、適切な式を立てることができます。
- 測定値のデータから、飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を正しく判断することができます。
- 基準量・比較量・割合の関係を理解し、その関係を表した図を正しく選択することができます。

《努力を要する所》

- 考え方を記述する問題は、努力を要します。また、無解答率もやや高いです。

【数学的な考え方】

- 目的に合わせたグラフがどれであるかを考える場面に課題があります。

これまでの取組から

- 校内研究でめざしてきた「互いに伝え合い考えを高め合う子の育成」の成果を生かし、児童が相互に学び合う姿勢を大切に取り組んでいます。

今後の具体的な取組について

- 「数学的な考え方」においては知識・技能の定着の上に【図や式や言葉で理由を説明できる】【数値を根拠として説明できる】などの活用する力を高められるように指導の工夫・改善を図ります。
- 「基本的な数量や図形についての知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより定着を図ります。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 96%の児童が家で宿題に取り組んでいます。
- 多くの児童が読書を好んでいます。
- 授業の中で分からないことがあったらそのままにせず、先生や友だちに尋ねて解決しています。

《課題と思われる所》

- 宿題には多くの児童が取り組んでいますが、進んで予習や復習に取り組んでいる児童は少ないです。
- 算数の勉強を大切だと思っているものの、あまり好きではありません。
- 学級の友だちとの話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると考えている児童が少ないです。

生活について

《よかった所》

- 92%の児童が毎朝朝食を食べているなど生活習慣は、比較的良好です。
- 規範意識があり、学校のきまりを守ろう、いじめはどんな理由があってもいけないと思っている児童が9割以上います。

《課題と思われる所》

- 半数以上の児童が人前で自分の考えを発表することに苦手さを感じています。
- 難しいことでも、失敗を恐れずチャレンジすることに抵抗がある児童の割合がやや高いです。
- 地域社会などでボランティアに参加している児童が少なく、地域や社会で起こっている問題や出来事への関心が低いです。

これまでの取組から

- 図書支援員により、図書室の蔵書を見直したり、環境の充実を図っています。朝の読書タイム（水・金）では、読書の楽しさを味わえるよう今後とも継続していきます。
- 低学年のうちから、学年に応じた宿題などにより家庭学習の定着を図っています。高学年では、自ら課題を見つけ予習や復習などの自主学習に取り組めるよう指導していきます。

今後の具体的な取組について

- 話し合い活動の中で、友だちの考えや意見から自分の考えが深まるような授業展開の工夫をしていきます。
- 友だちの前で自分の考えを発表できる学級の雰囲気づくりや失敗を恐れずチャレンジする大切さを伝えていきます。



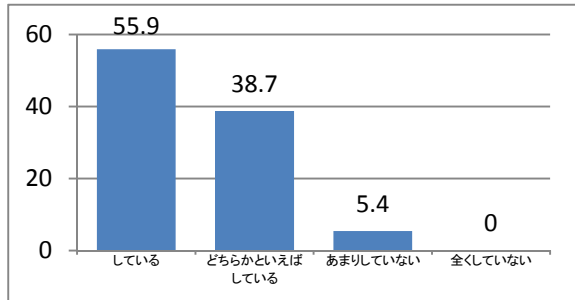
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

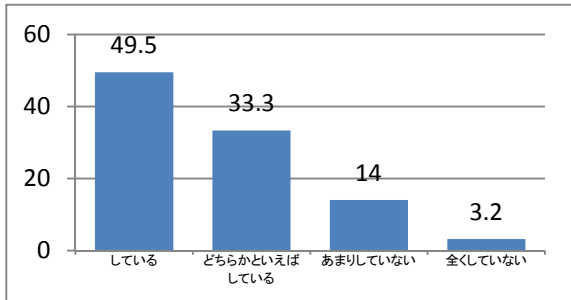
1 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

起床時刻に比べて、就寝時刻にばらつきがあるようです。夜更かしをしたり、テレビ画面などから強い刺激を受けたりすると、睡眠の質が低下するといわれています。就寝前の過ごし方の見直しや快適に入眠できる環境づくりに取り組みましょう。

毎日、同じくらいの時間に起きていますか。



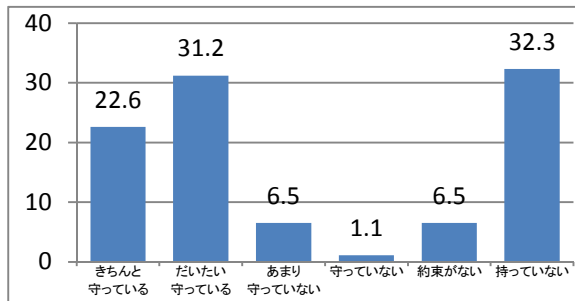
毎日、同じくらいの時間に寝ていますか。



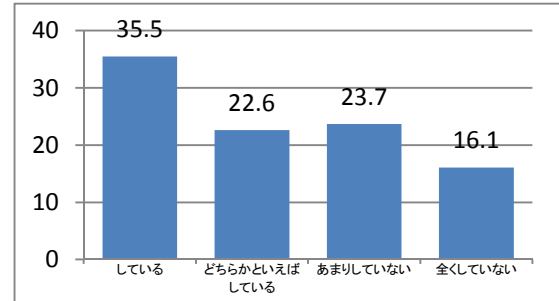
2 ルールを決めて使用しましょう。

携帯電話に関しては、使い方の約束が守れていると答えた割合が高いですが、テレビやゲームの使用に関しては、ルールを決めていない家庭が多いようです。児童が適切に使用できるように定期的にご家庭で話し合い、ルールを見直しましょう。

携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



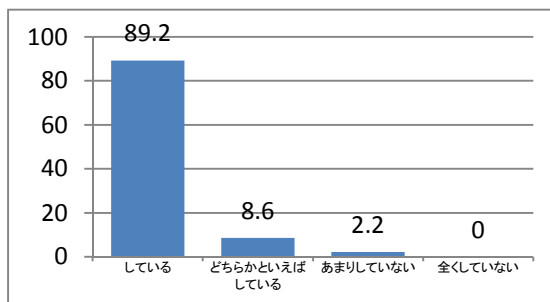
テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。



3 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

家庭学習に関する項目では、ほとんどの児童が宿題に取り組んでいる様子がわかる一方で、計画を立てて学習に取り組んでいる割合が低いようです。自学自習の習慣を身につけるために、児童自らが計画を立てて学習に取り組めるような支援を図りましょう。

家で、学校の宿題をしていますか。



家で、計画を立てて勉強をしていますか。

